

長良川河口堰賛成

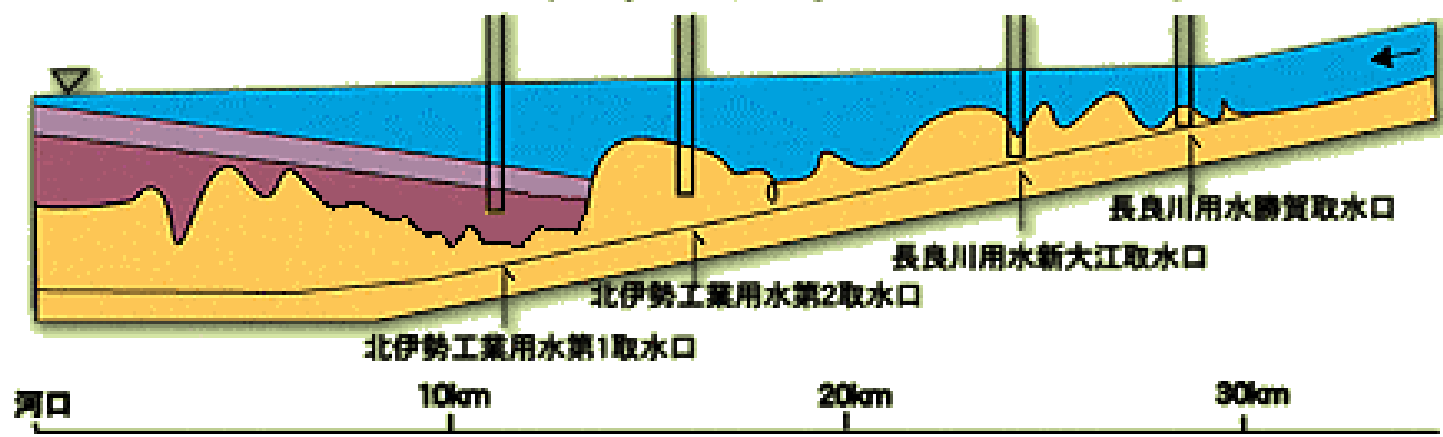
千野 貴彦 宗本 金吾
大内 知章 仁平 浩史
伊藤 紘晃

長良川河口堰とは？

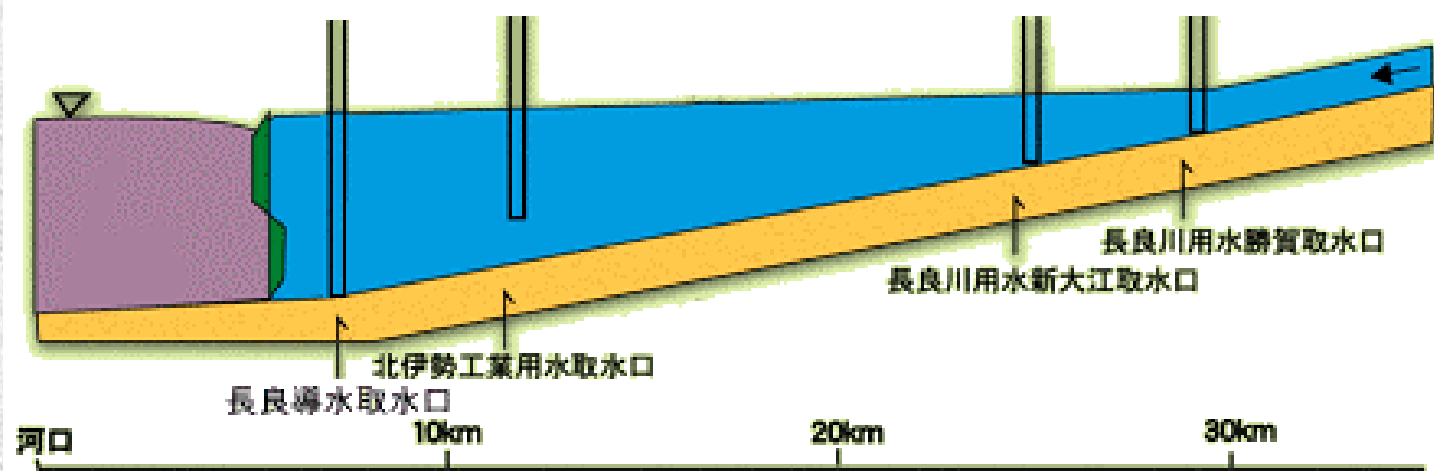
目的 ・ 利水－水資源確保
・ 治水－浚渫による洪水制御
と塩害対策

問題点 ・ 干潟や汽水域の減少

■しゅんせつ及び河口せき建設前（塩水は15km付近のマウンドでほぼ止まっている）



■河口せき建設後（潮止めをしてマウンド等のしゅんせつをする）



治水の必要性

1. 長良川下流域の特性

2. 災害の歴史と洪水制御

1. 長良川下流域の特性



長良川は緩やか
で両側が平地



上流にダムを造る
のに適していない



ダム以外の
洪水対策

輪中の特徴



もしも堤防が決壊すると・・・

- 民家や田畑など壊滅的な被害
- 水がなかなか引かず，被害の長期化

2. 災害の歴史と洪水制御

- 昭和の3大洪水

S.34年9月 **伊勢湾台風** (死者行方不明者431人)

S.35年8月

S.36年6月

- 安八町の破堤

S.51年9月

その当時、輪中に住む住民は一刻も早い洪水対策を望んでいた。

洪水対策案

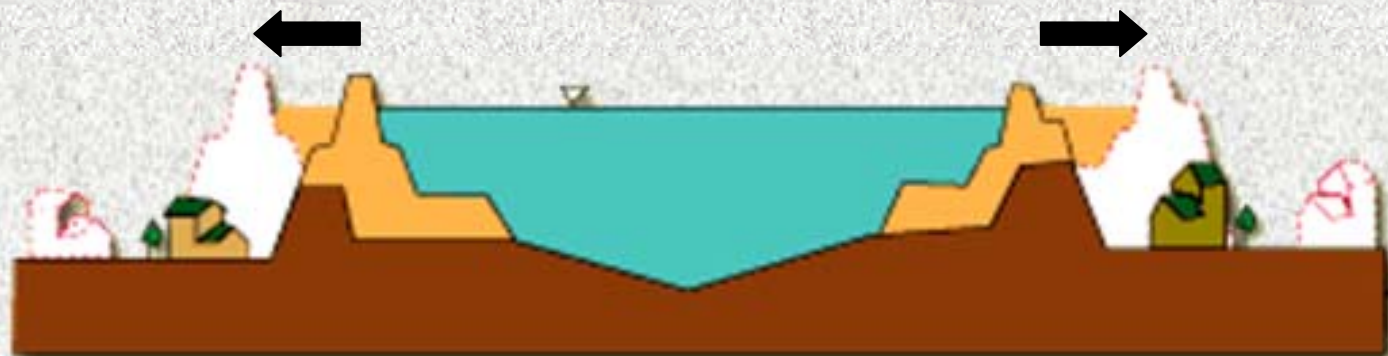
計画高水流量を流すには、河積を増す必要がある。

引堤

堤防嵩上げ

浚渫

引堤



問題点: 大規模な**用地買収**や多数の
住民の移住を伴い, **長い年月**
を必要とする. 実質不可能.

総事業費 5,700億円

堤防嵩上げ



問題点: **14橋の架け替え**, 洪水時の水面上昇により**破堤時の被害が増大**,
コスト高い.

総事業費 8,700億円

浚渫(しゅんせつ)



問題点: 住民の移動などを行うことなく
短期間で治水安全を確保できるが、
塩害が生じるため堰が必要。

総事業費3,800億円(堰本体1,500億円)

洪水対策案の比較

案	総事業費
引堤	5,700億円
堤防嵩上げ	8,700億円
浚渫 + 堰	3,800億円

浚渫が最も経済的

短期間で安全確保

国土交通省(旧建設省)河川局水資源開発公団より

利水の必要性

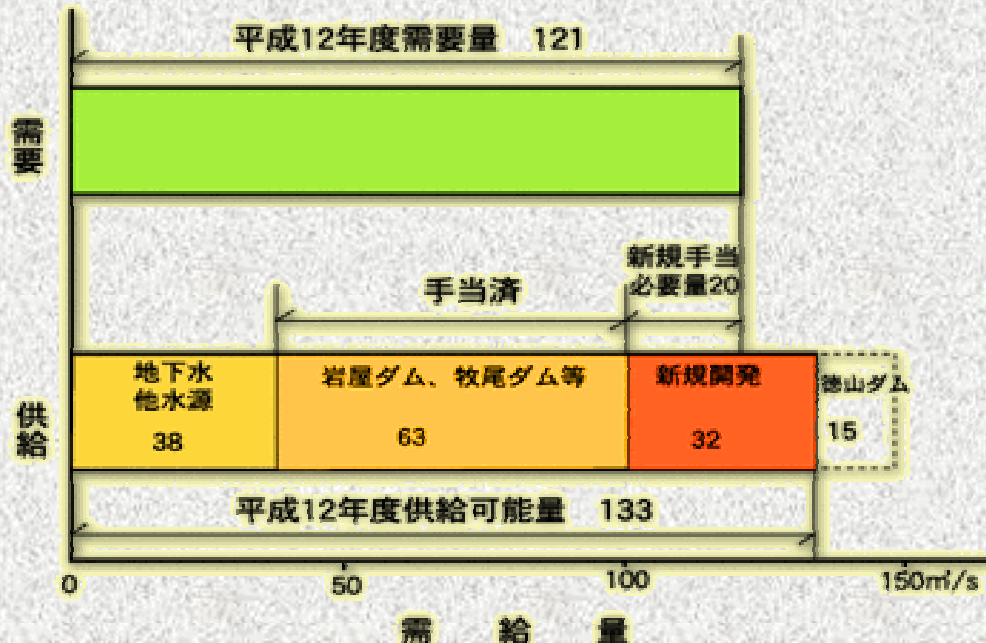
1. 水需要の増加

2. 渇水の危険性

1.水需要の増加

昭和30年(1955年)代からの高度成長により
工業用水などの水需要が増加。

■都市用水需給量 (平成12年度計画値)



2. 渇水の危険性

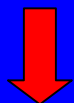
- ◆ 清流「長良川」にはダムはなく、流量調節ができないので渇水に弱い。

H. 6 年の大渇水

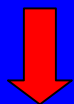
- ・ 19時間断水
- ・ 75市町村590万人の生活に影響
- ・ 地域経済に約300億円の損害

渇水対策のため、安定した水供給が必要！

洪水に弱い輪中地域



度重なる氾濫の被害



早期な治水対策が必要

水需要の増加

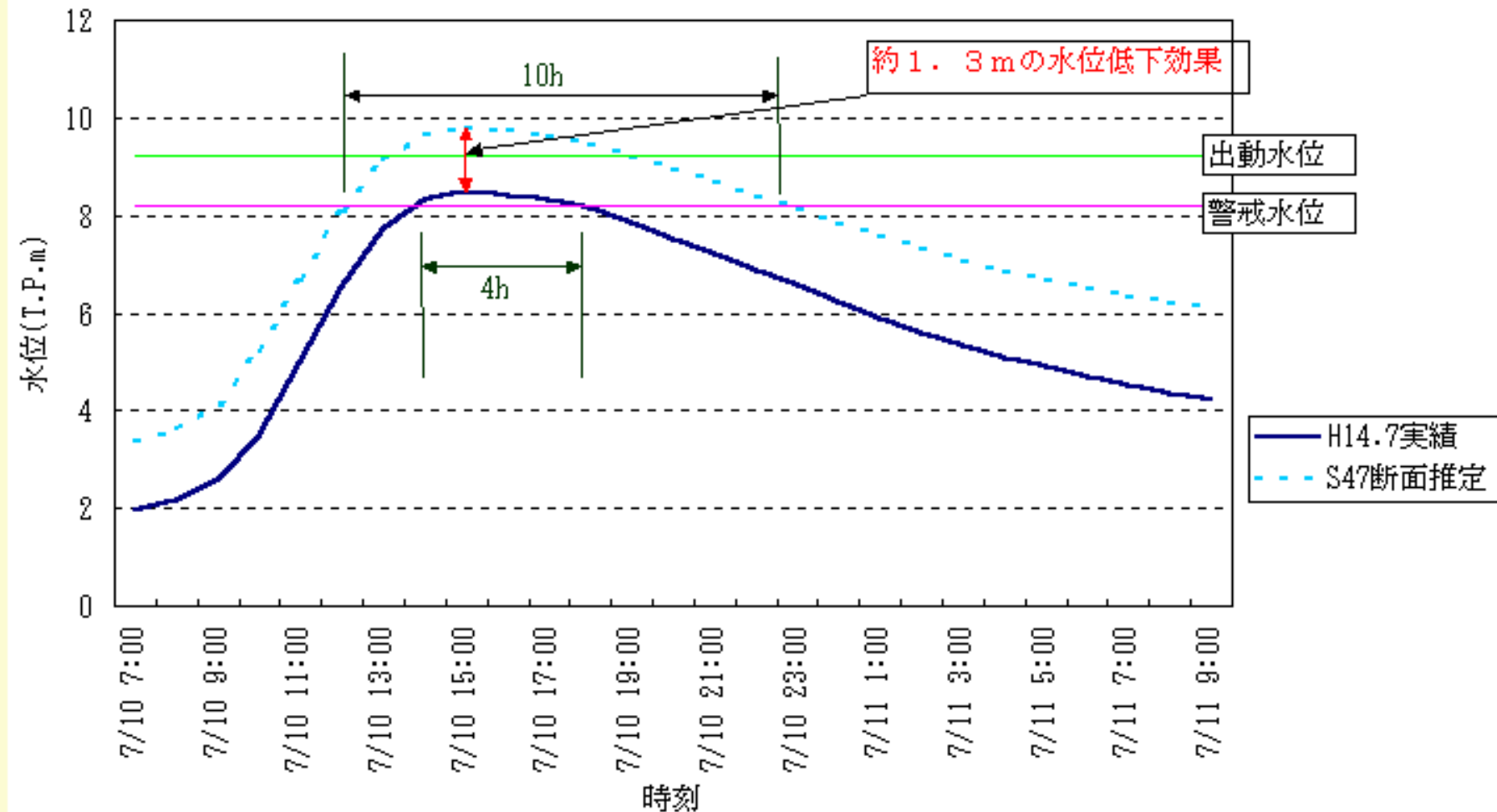
渇水の危険性

治水・利水・コストの観点から・・・

浚渫 + 堰しかあり得ない！

浚渫 + 堰による効果

長良川水位しゅんせつによる水位低下効果（平成14年7月10日出水：墨俣地点）



賛成派

・利水
水資源確保

・治水
浚渫による洪水制御
と塩害対策

農民や知事
の要請

流域住民の要請

河口堰建設

マスコミや環境保護団体

反対派

近年の水需要
の低下を指摘

・環境破壊—生態系攪乱
—漁業に大打撃
—水質の悪化

環境面での配慮

環境アセスメントを行い、影響緩和策(ミティゲーション)として最大限の配慮をしている。

◆3種類の魚道を設置

◆浚渫土砂の有効利用

◆多自然型川づくりの実施

機能的な魚道

呼び水式魚道

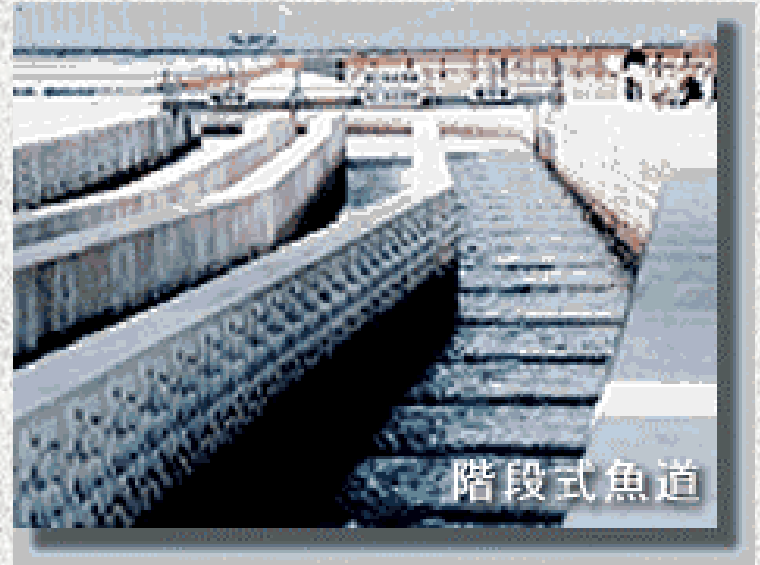
アユ・サツキマス

ロック式魚道

モズクガニ・テナガエビ・アユ

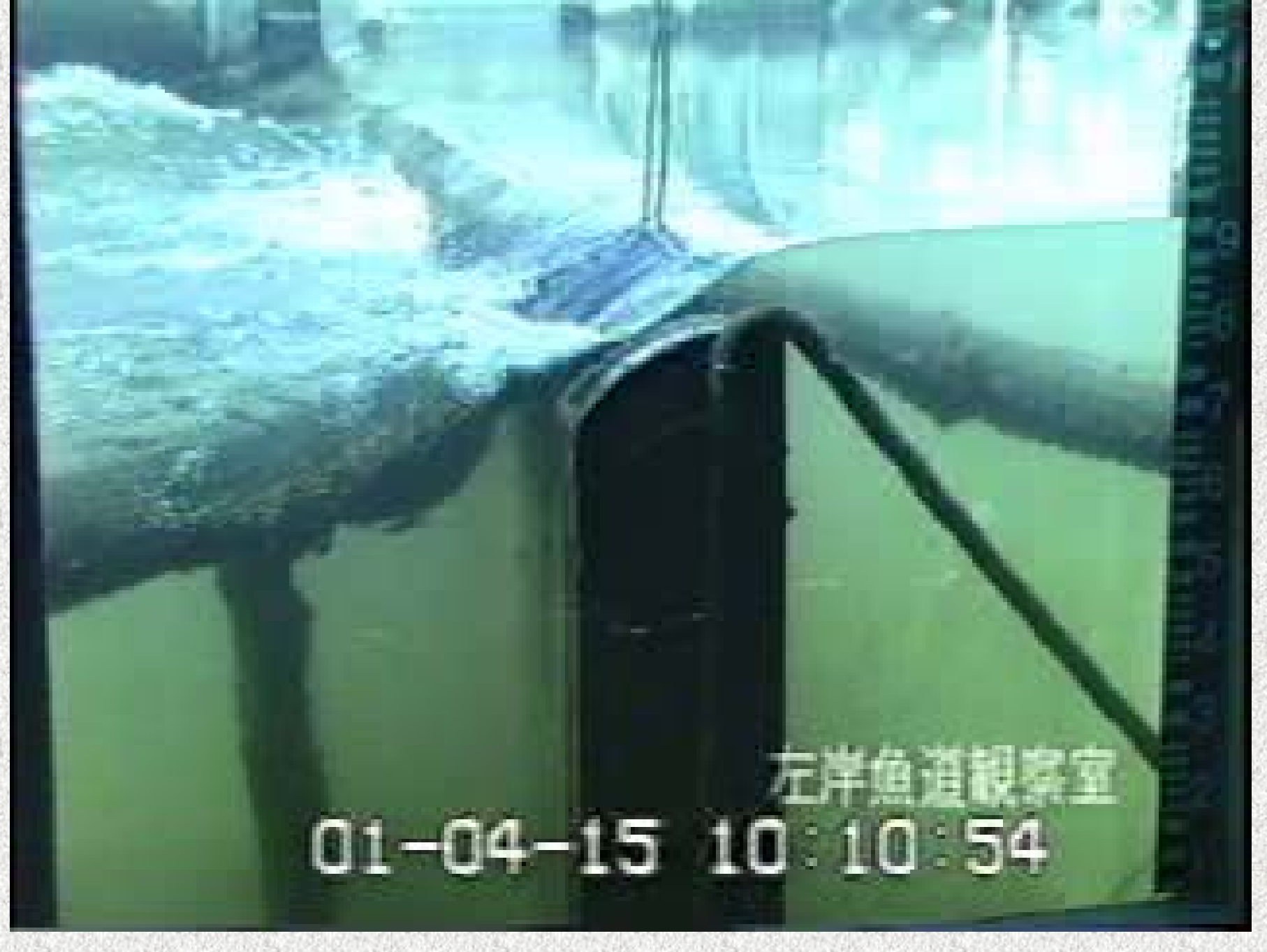
せせらぎ魚道

モズクガニ・テナガエビ・アユ



せせらぎ魚道 水中

04-24-01 09:18:05



左岸魚道觀察室

01-04-15 10:10:54



浚渫土砂2100万トンの有効利用

- ◆ 人口干潟・渚を造成 (24%)
失われた自然の代償・ビオトープの創出
- ◆ ブランケット (高水敷) 造成・堤防補強 (40%)
- ◆ 骨材として利用 (36%)



多自然型川づくり

- 植生護岸
- 木工沈床
- 3種類の魚道
- 人工河川



ハビタット創出効果

+

親水空間

まとめ

- ◆ 長良川河口堰は様々な問題を抱えながらも、確実に人々の暮らしに貢献している。

環境も大切だが、人の命が大切。

長良川河口堰は必要不可欠！

ご清聴ありがとうございました